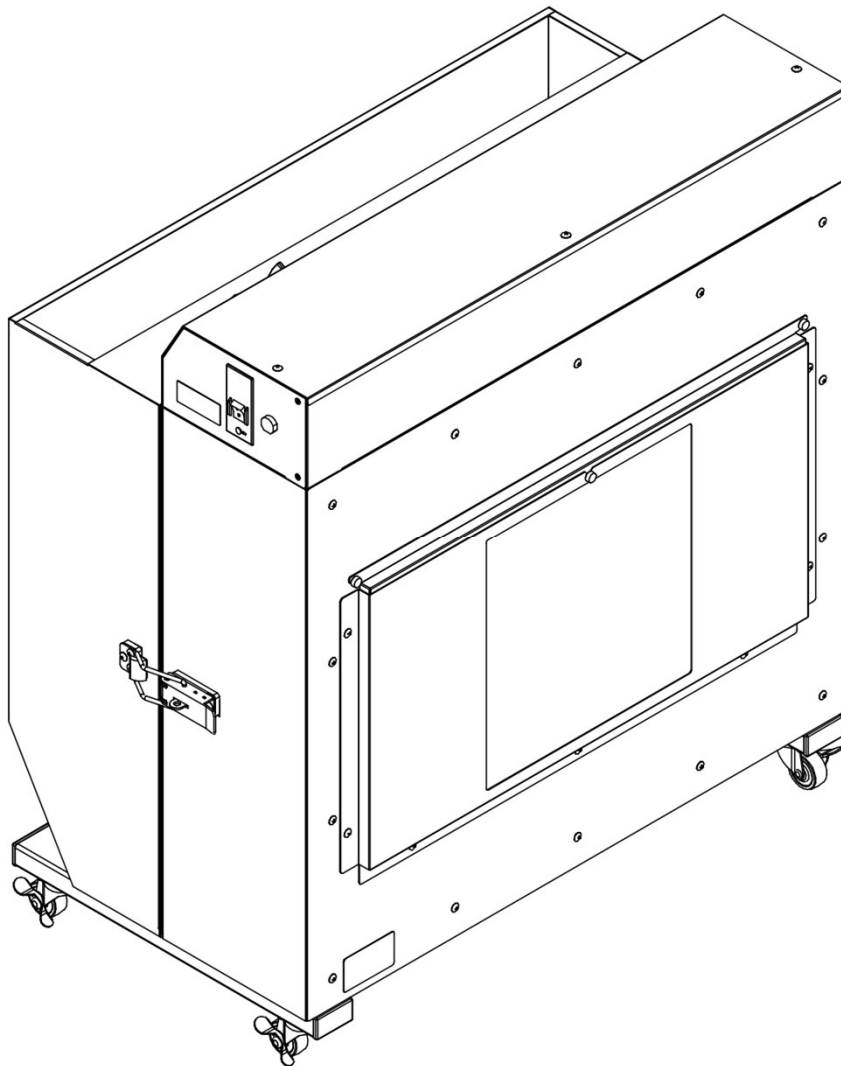


取扱説明書

INSTRUCTION MANUAL

簡易陰圧装置 KFC-NP15



このたびは簡易陰圧装置をご購入いただきまして、誠にありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(2～4ページ)はご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

●本機種は日本国内専用です。(Use only in Japan)

【保証書付】

も く じ




1	安全上のご注意	2~4ページ
2	各部名称	5ページ
3	設 置	6ページ
4	電源の接続	7ページ
5	ご使用方法	7~8ページ
6	メンテナンス	9~10ページ
7	オプション	11~12ページ
8	トラブルシューティング	13ページ
9	標準使用期間について	14ページ
10	保証とアフターサービス	15ページ
11	交換部品・別売品	15ページ
12	仕 様	16ページ

1 安全上のご注意

必ずお守りください







この製品を「使用される人」や「管理される人」、「他の人」への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように区分し説明しています。

◆表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生ずる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。なお、『△注意』に記載した事項でも、状況によっては重大な結果につながる可能性がありますので必ずお守りください。

表示	説明
 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う切迫した危険が想定される」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- 重傷とは、失明、けが、やけど(高温・低温・化学)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをいいます。
- 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをいいます。
- 物的損害とは、建物・財産・装置・機器などにかかわる拡大損害を指します。

◆お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。
(下記は絵表示の一例です)

 	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 	このような絵表示は、取扱いにおいて「警告・注意を喚起する」内容です。
 	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

















- ◆この製品をご使用いただく前に以下の危険・警告・注意をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ◆製品の各部名称については、5ページをご覧ください






危険

- 次の物は絶対に吸引させない
 - ・ガソリン、ガス、シンナー、灯油、ベンジン、接着剤、塗料、溶剤等の引火性のある危険物。
 - ・アルミニウム、マグネシウム、チタン、亜鉛、コークス、カーボンブラック等の爆発性粉塵及び可燃性粉塵。
 - ・サンダー、グラインダー、切断機、溶接機、工作機械等から発生する火花を含む粉塵。
 - ・腐食性ガス、可燃性ガス、爆発性ガス。
 - ・火の粉、たばこの吸殻、焚き火、残り火等の高温の物。
- 火災・爆発事故の原因となります。
















⚠ 警 告

 <p>● 屋外、水・油のかかる場所、火気の近くや粉塵の多い場所、水蒸気の発生する空間では絶対に設置・使用・保管しない</p> <p>本製品は屋内専用機です。 漏電・感電・故障の原因になります。</p>	 <p>● 爆発性雰囲気、火気厳禁の場所などの危険場所で絶対に設置・使用しない</p> <p>本製品は防爆仕様となっていない為、火災・爆発の恐れがあります。 ※火気厳禁の場所(爆発性ガス、ガソリン、灯油、有機溶剤等の保管場所及びその近辺)</p>
 <p>● 設置・使用・保管環境以外の環境で設置・使用・保管しない</p> <p>漏電・感電・故障の原因になります。 ◇温度範囲: 5~35℃(氷結・結露無き事) 湿度範囲: 35~85%RH(氷結・結露無き事) ※急激な温度変化が有る場所に設置しないでください。</p>	 <p>● 次の物は吸引しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬品などの腐食性物質 ・アスベストなどの有害性粉塵 ・放射性物質や放射能で汚染された粉塵など <p>専用の機器をご使用ください。</p>
 <p>● 漏電遮断器のついた電源を使用する</p> <p>配線部が異常発熱する恐れがあり、感電や火災の原因となります。</p>	 <p>● 電気配線工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規則等に従って、必ず「法的有資格者」が行う</p> <p>施工不備があると、感電や火災の原因になります。</p>
 <p>● たこ足配線を行わない</p> <p>感電や火災の原因になります。</p>	 <p>● アースは必ず接地する アース工事は、電気設備技術基準等、関連する法令・規則等に従って、必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う</p> <p>漏電した場合、感電や火災の恐れがあります。 静電気等で機器の故障・誤作動の恐れがあります。</p>
 <p>● 電源はAC100Vを使用する</p> <p>機器の破損、誤動作の原因となります。</p>	 <p>● 濡れた手で電源を接続、取り外しをしない</p> <p>故障、感電の原因となります。</p>
 <p>● 定格周波数(50Hz/60Hz)で使用する</p> <p>機器の破損、誤動作の原因となります。</p>	 <p>● ファン回転部に手を絶対にいれない</p> <p>挟まれて、けがををする恐れがあります。</p>
 <p>● 空間のクリーン化以外での使用は行わない</p> <p>漏電・感電・火災・爆発・故障・けがの恐れがあります。</p>	
 <p>● 使用前に必ず本製品の外観上の異常(破損、変形、歪み、弛み、等)が無いことを確認する</p> <p>異常発生箇所によっては本製品の性能が発揮できず、事故や故障の原因となります。</p>	
 <p>● 使用中に異音や異臭、吸引力の低下等の異常が生じた場合には、ただちに運転を停止し、電源プラグを抜くか、一次側電源をOFFにする 次のような場合に運転を継続しない</p> <ol style="list-style-type: none"> ①フィルタが目詰まりしたままの状態で使用した場合。 ②吸気口、排気口を閉塞して使用した場合。 ③吸気口、排気口に異物が詰まった状態で使用した場合。 ④フィルタを装着しないで使用し、粉体や固形物が直接ファンに吸込まれロック状態で使用した場合。 ⑤運転中にファンが停止した場合。 <p>火災・故障・感電の原因となります。</p>	
 <p>● 抗菌プレフィルタ除菌酵素HEPAフィルタの廃棄については各法令に従って廃棄してください。</p>	

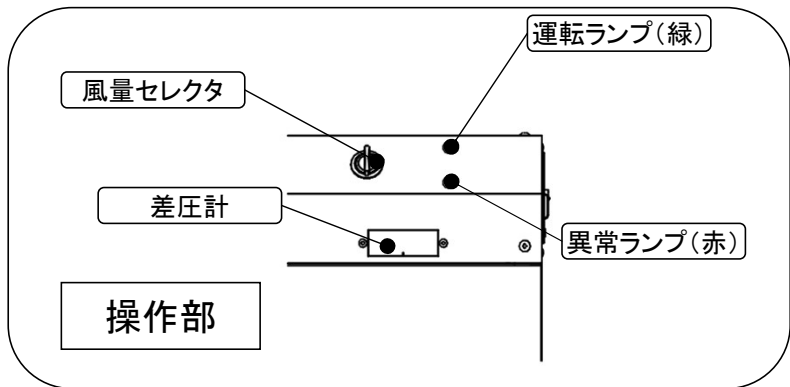
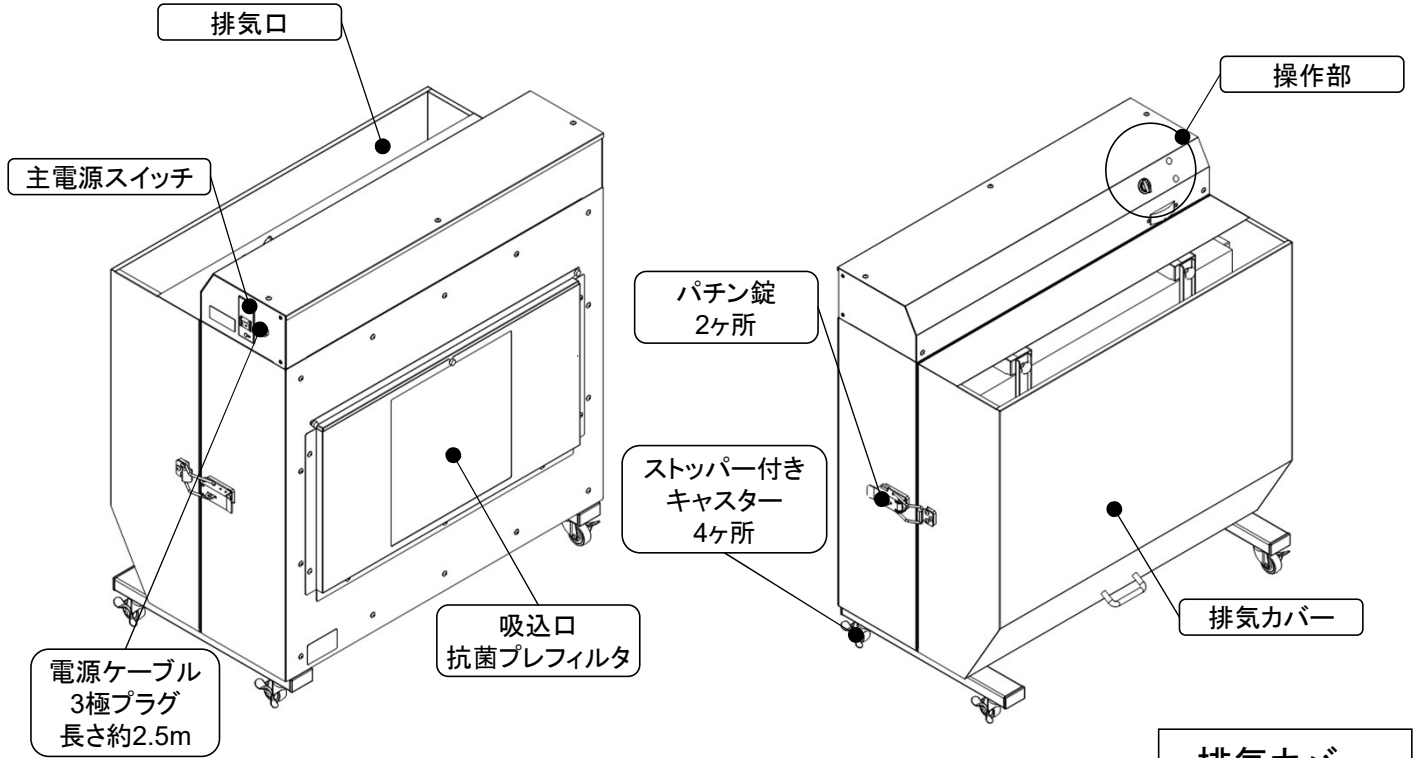
⚠ 警 告

 <ul style="list-style-type: none"> ● 本説明書に記載されている注意事項や製品に貼り付けられた警告ラベル・注意ラベルの指示に従って行う 感電やけがの恐れがあります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● フィルタ交換などの保守・点検の際は、電源プラグを抜いてファンの回転が停止したことを確認してから作業する 感電やけがの原因となります。
 <ul style="list-style-type: none"> ● 分解したり、修理・改造は行わない 発火や感電、異常動作によるけがの原因となります。 ◇修理については販売店にご相談ください。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 水をかけて清掃しない また、シンナー等の溶剤で拭いたりしない 漏電事故や故障の原因となります。
 <ul style="list-style-type: none"> ● インバータなどによる増幅運転は絶対に行わない 火災や故障の原因となります。 	

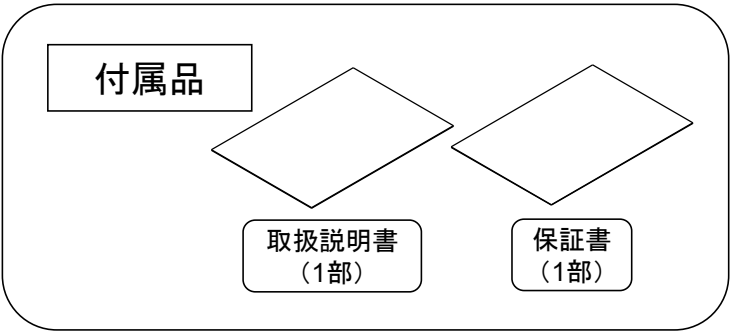
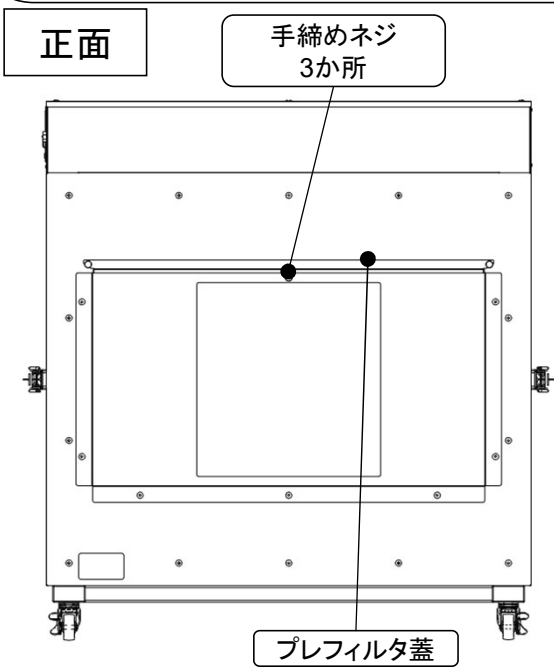
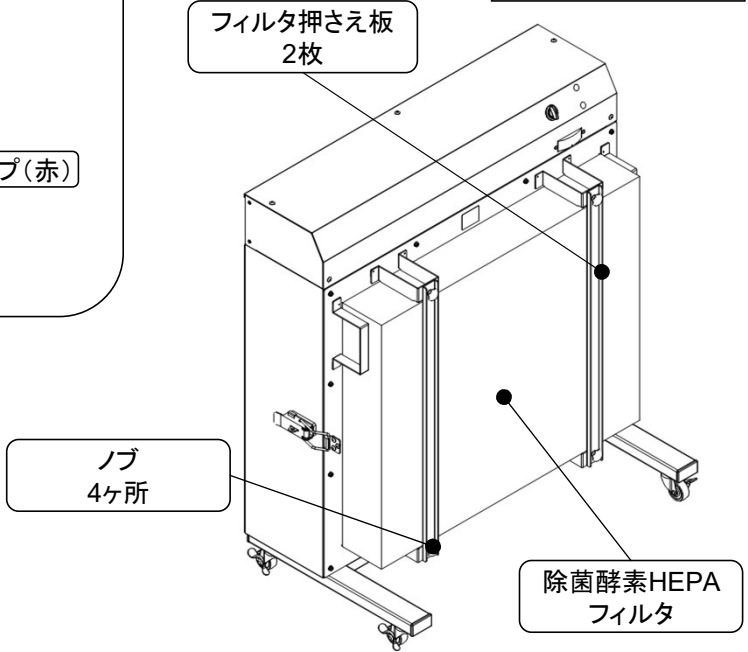
⚠ 注 意

 <ul style="list-style-type: none"> ● 搬入・移動する際は重心・重量を考慮して2人以上で作業を行う 本製品は重量物ですので、装置転倒による故障・けがの恐れがあります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● かく水平で平坦な場所に設置する 軟弱で傾斜や段差の有る場所に設置すると転倒事故や振動、故障の原因となります。
 <ul style="list-style-type: none"> ● 取手部分を持って、装置を移動しない 装置転倒、カバー落下による故障・けがの恐れがあります。取手はカバー取り外し時の使用としてください。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 各フィルタを取外した状態での運転は行わない フィルタは正しく装着して使用する 故障・性能低下の原因となります。
 <ul style="list-style-type: none"> ● 清掃の際に、クレンザーなどの研磨剤や、金属たわしなどはいない 表面処理のはがれ、キズの原因となります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 標高1000m以下の場所に設置する 故障の原因となります。
 <ul style="list-style-type: none"> ● 排気口に手や棒などを絶対に入れない けがや故障の原因となります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 吸気口を塞がない 性能が出ない原因になります。 騒音が発生する恐れがあります。
 <ul style="list-style-type: none"> ● 各フィルタは、本製品専用の物以外は使用しない 他のフィルタを取り付けてのご使用は、故障の原因となります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 吸気口の近くに遮蔽物を置かない。 十分な処理風量が得られない場合があります。 騒音が発生する恐れがあります。
 <ul style="list-style-type: none"> ● 保守・点検・交換を行う際は保護メガネ、マスク、ゴム手袋などをつけて作業する けがの原因となります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● メンテナンス時、フィルタと吸気口カバーの落下に注意する けがや故障の原因となります。
 <ul style="list-style-type: none"> ● 部品は、本製品専用の物以外は使用しない 専用の物以外を取り付けてのご使用は、故障の原因となります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 本体に貼り付けてある警告ラベル、銘板等は剥さない
 <ul style="list-style-type: none"> ● フィルタ交換時に新品フィルタのろ材を傷つけない 性能が出ない原因になります。 	

2 各部名称



排気カバー 取り外し



3 設置

設置する前に2～4ページの安全上のご注意をよくお読みいただき、正しくお使いください。

⚠ 警告

●設置・使用・保管環境以外の環境に設置しない

◇温度範囲: 5～35℃、湿度範囲: 35～85%RH(氷結・結露無き事)
漏電、感電、故障の恐れがあります。

設置

※本製品は重量物ですので搬入・移動する際は2人以上で作業してください。(製品質量: 50kg)

1. 設置後はキャスターをロック(ストッパーにて)し、動かない様にしてください。
※かたく水平で平坦な場所に設置してください。

2. 風量確保の為、吸込口の近くに遮蔽物を置かないでください。

3. 排気カバーの取付によって排気口の向きを上下変更可能です。

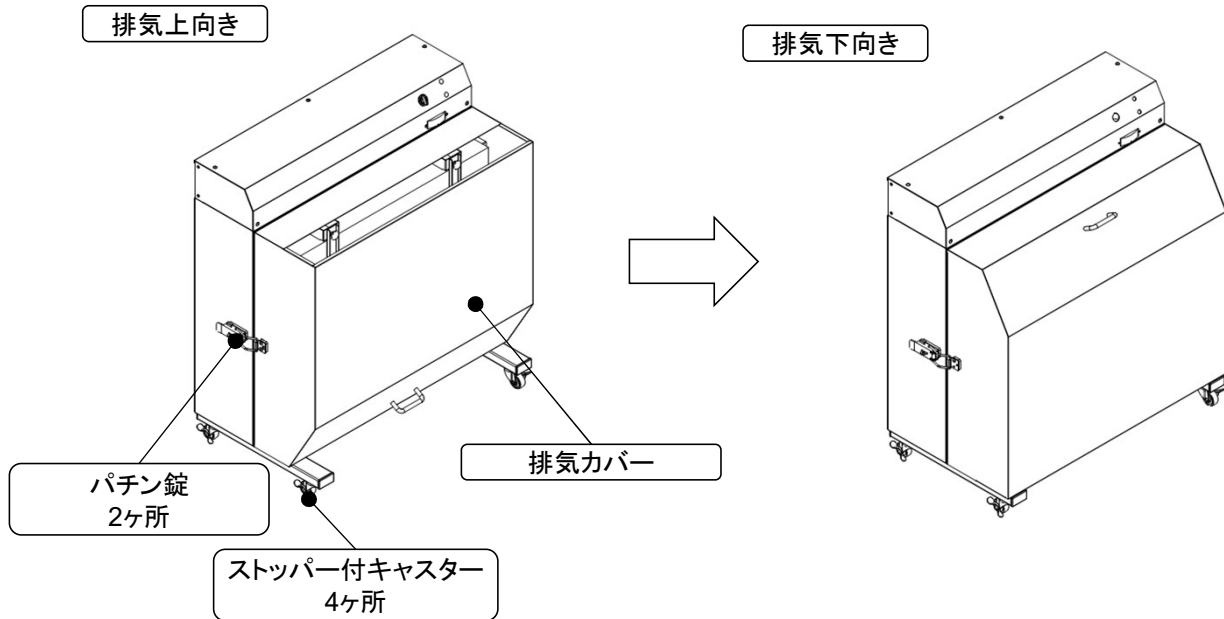
3-1 パチン錠2ヶ所を外し、排気カバーを取り外します。

3-2 排気カバーを上下180°回転させ、パチン錠にて固定します。

◆本製品を設置後に移動させる場合は、

主電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜き、ファンが停止したことを確認する。

上記を行った後、キャスターのストッパーロックを解除して移動させて下さい。



4 電源の接続

電源の接続をする前に2～4ページの安全上のご注意をよくお読みいただき、正しくお使いください。

警告

- アースは必ず接地する
感電、火災、故障の恐れがあります。

1. 電源接続前に本製品の主電源スイッチが「OFF」になっている事をご確認ください。
2. 本製品は以下の漏電遮断器設置の電源でご使用ください。
※定格15A、AC100V(50Hz/60Hz)
電気工事が必要な場合は電力会社指定の電気工事業者に工事を依頼してください。
3. 電源プラグは、コンセントへ根元まで確実に差し込んでください。
※本製品は日本国内専用であり、海外の規格などには準拠していません。

5 ご使用方法

ご使用する前に2～4ページの安全上のご注意をよくお読みいただき、理解してください

危険

- 次の物は絶対に吸引させない



- ・ガソリン、ガス、シンナー、灯油、ベンジン、接着剤、塗料、溶剤等の引火性のある危険物。
- ・アルミニウム、マグネシウム、チタン、亜鉛、コークス、カーボンブラック等の爆発性粉塵及び可燃性粉塵。
- ・サンダー、グラインダー、切断機、溶接機、工作機械等から発生する火花を含む粉塵。
- ・腐食性ガス、可燃性ガス、爆発性ガス。
- ・火の粉、たばこの吸殻、焚き火、残り火等の高温の物。

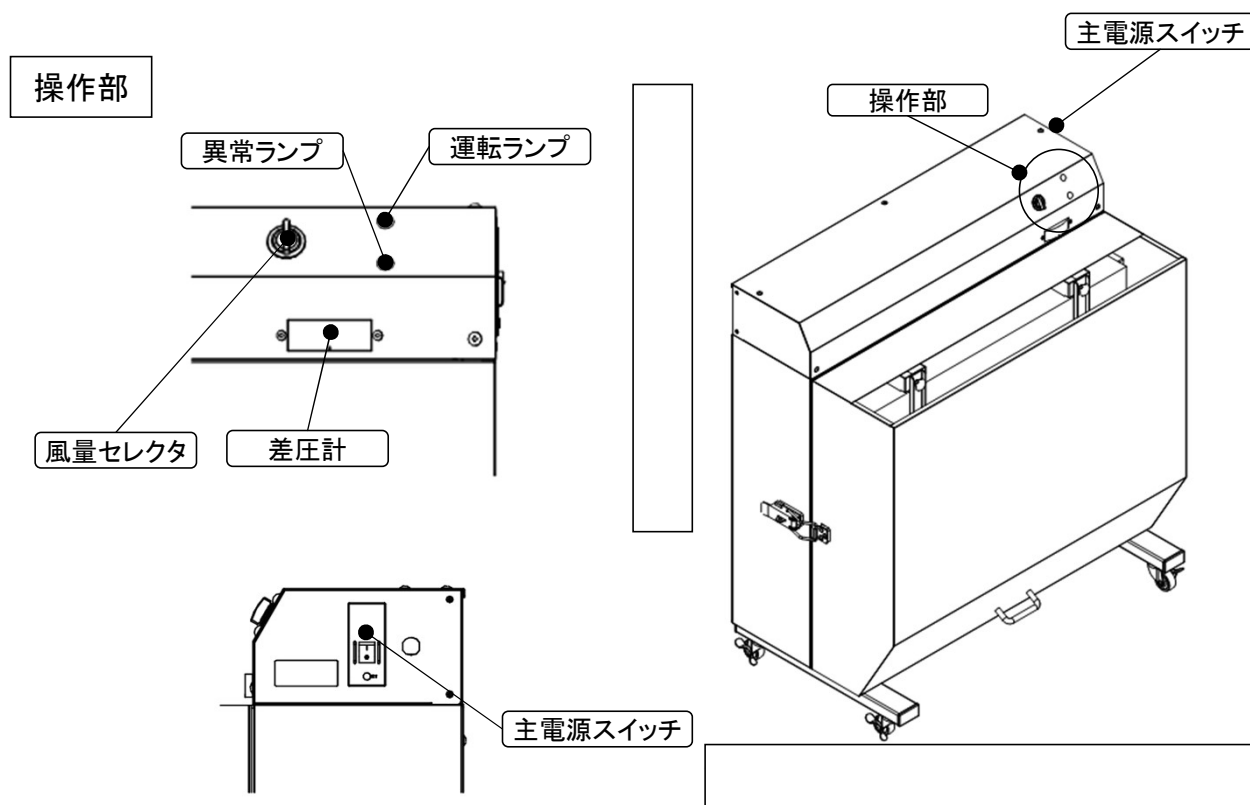
火災・爆発事故の原因となります。

運転前の確認

- ◆運転前に以下の内容を必ず確認し、問題がある場合は本製品の使用を中止してください。
 - ・全てのフィルタが正しく装着されていること。
 - ・本製品の外観上の異常(破損、変形、歪み、弛み、等)が無いこと。
 - ・排気カバーのパチン錠が全て確実に固定されていること。
 - ・吸引口、排気口が塞がれていないこと。
 - ・電源コードの劣化、損傷、取り付け状態を点検すること。

操作方法

1. 主電源スイッチを「ON」にしてください。
※運転ランプ(緑)が点灯し、ファンが回転を始めます。
 2. 主電源スイッチを「OFF」にしてください。
※運転ランプ(緑)が消灯し、ファンが停止します。
- ◆風量セレクタを操作する事により、風量を可変する事が出来ます。
(0:6m³/min 1:10m³/min 2:12m³/min 3:14m³/min)
- ◆差圧計は除菌酵素HEPAフィルタの差圧(目詰まりの目安)を表しています。
差圧計の確認方法は10ページを参照ください。



6 メンテナンス

メンテナンスする前に2～4ページの安全上のご注意をよくお読みいただき、正しくお使いください。

- ◆抗菌プレフィルタ・除菌酵素HEPAフィルタご購入の際は15ページ記載の部品番号を販売店に御連絡ください。
- ◆使用済みの抗菌プレフィルタ・除菌酵素HEPAフィルタは産業廃棄物に該当しますので、廃棄される場合は産業廃棄物処理業者に委託してください。

抗菌プレフィルタ ●抗菌プレフィルタが汚れていないか確認する。(毎週)

除菌酵素HEPAフィルタ ●抗菌プレフィルタ交換時に差圧計の値が正常値を外れていないか確認する。(抗菌プレフィルタ交換毎)

※点検時期の期間は目安です。使用条件により異なります。

フィルタの交換

- ◆正常運転にて風量の低下が見られる場合、フィルタの交換を行ってください。
※交換の周期は、周囲環境の使用条件により異なります。
- ◆差圧計の値が正常値から外れる場合にフィルタの交換を行ってください。 ※10ページ参照

抗菌プレフィルタ

⚠ 警告

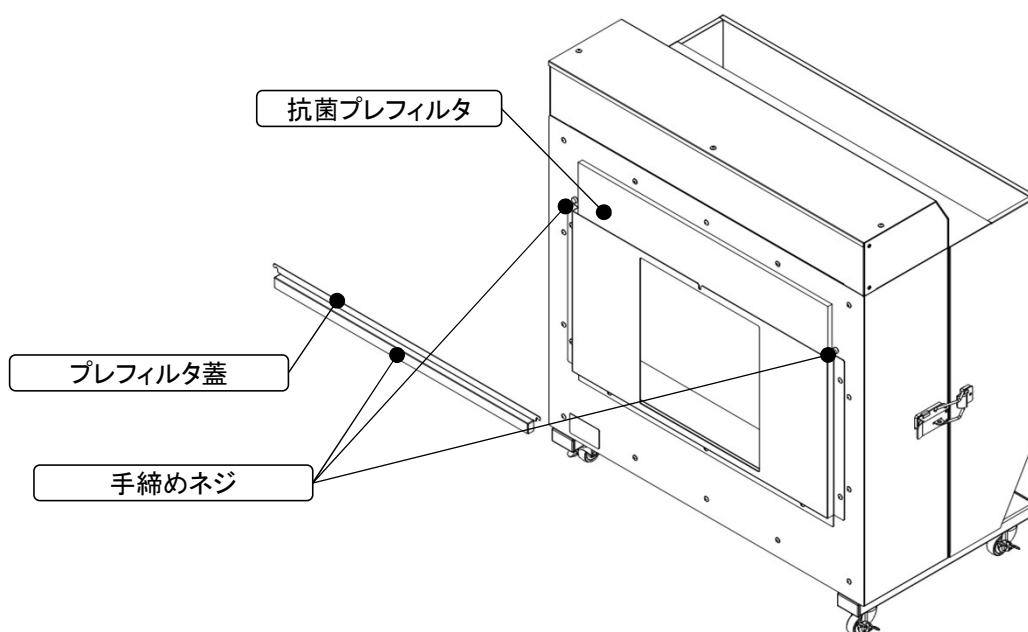
- フィルタ交換時は、絶対に電源を入れない
- 必ず保護メガネ、マスク、ゴム手袋などを付けて作業する
- 濡れた状態で使用しない
けが、感電、故障の恐れがあります。

- 抗菌プレフィルタ・除菌酵素HEPAフィルタの廃棄については各法令に従って廃棄してください。

法令に従い適切に廃棄してください。

<手順>

1. 主電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグを抜いてファンの回転が停止したことを確認してください。
2. 手締めネジ(3か所)を緩めると、「プレフィルタ蓋」が上にスライドして外れます。
3. 「抗菌プレフィルタ」を交換してください。
※抗菌プレフィルタは上へ引き出して取外してください。
※抗菌プレフィルタを交換・廃棄する場合には各市町村の条例等に従って廃棄してください。
4. 「プレフィルタ蓋」を取付けて、「手締めネジ」(3か所)でしめてください。



除菌酵素HEPAフィルタ

⚠ 警告

- フィルタ交換時は、絶対に電源を入れない
- 必ず保護メガネ、マスク、ゴム手袋などを付けて作業する
- 濡れた状態で使用しない
けが、感電、故障の恐れがあります。

- 抗菌プレフィルタ・除菌酵素HEPAフィルタの廃棄については各法令に従って廃棄してください。

法令に従い適切に廃棄してください。

●差圧計

差圧計にて、除菌酵素HEPAフィルタの目詰まりを確認できます。
抗菌プレフィルタが目詰まりしている場合除菌酵素HEPAの目詰まりを見ることが出来ません。
抗菌プレフィルタを交換し、差圧値が正常から外れた場合に除菌酵素HEPAフィルタを交換してください。

<確認方法>

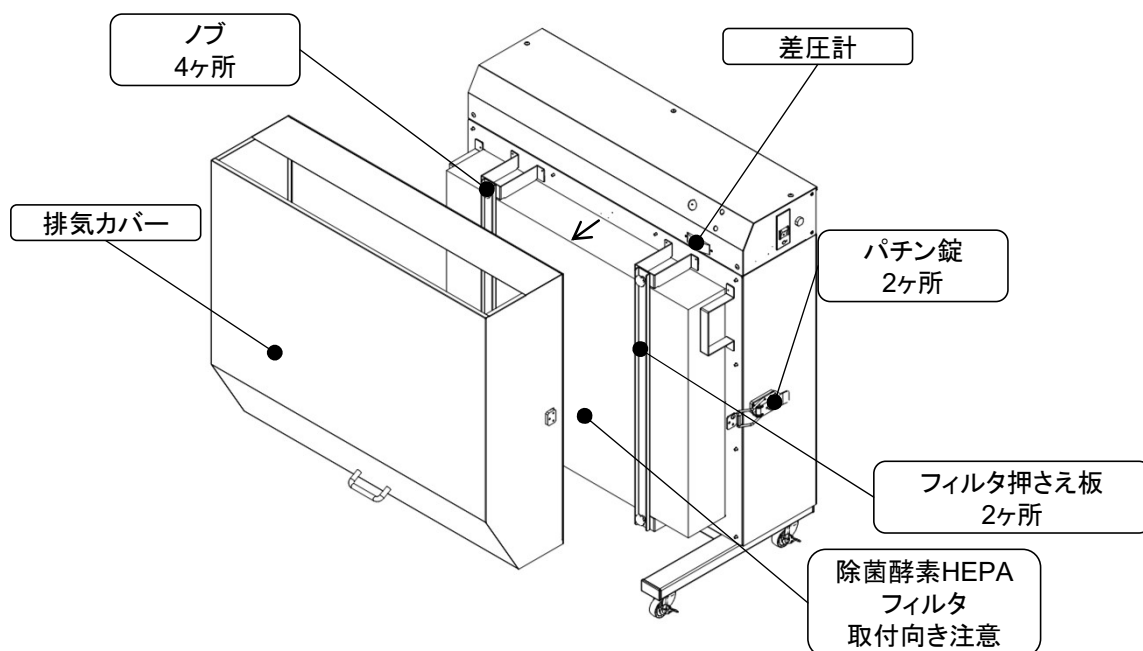
1. 吸気口、排気口に遮蔽物が無いことを確認してください。
2. 風量セレクタを3にして主電源スイッチをONにします。
3. 正常値から外れる場合には除菌酵素HEPAが目詰まりしています。

風量セレクタが0、1、2に設定されている場合、目詰まり状態でも正常の範囲になることがあります。



<フィルタ交換手順>

1. 主電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグを抜いてください。
ファンの回転が停止します。
 2. 「パチン錠」(2ヶ所)を外し、「排気カバー」を取外します。
 3. 「ノブ」4ヶ所を外し、「フィルタ押さえ板」(2ヶ所)を取り外すと、フィルタが取り出せます。
 4. 「除菌酵素HEPAフィルタ」を取外し、交換してください。
※取付向きに注意ください。フィルタ矢印を下図と合わせる。
 5. フィルタの表面を傷つけない用に注意し、「フィルタ押さえ板」(2ヶ所)で固定してください。
 6. 「排気カバー」を取付け、「パチン錠」(2ヶ所)で固定します。
 7. 取付後は試運転を行い、装置単体で風量3に設定すると差圧計の値が正常値になることをご確認ください。
差圧計が動作しない、正常値から外れる場合にはフィルタ取付状況を再度ご確認ください。
- ◆装置単独での確認作業です。吸排気口に遮蔽物があると差圧値が正常の範囲から外れる場合があります。
抗菌プレフィルタが目詰まりしている場合にも差圧値が正常の範囲から外れる場合があります。



7 オプション

部品名称	部品番号	数	備考
吸気ダクト(ダクト径φ285)	KFC-15H-D	1	
排気ダクト(ダクト径φ250)	KFC-NP15-D2	1	

吸気口ダクト

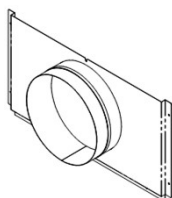
部品交換する前に2~4ページの安全上のご注意をよくお読みいただき、正しくお使いください。
対象空間(ブース等)にダクトがある場合、接続しやすくなります。

⚠ 警告

- フィルタ交換時は、絶対に電源を入れない
- 指示場所以外の場所を分解しない
発火、感電、けがの恐れがあります。

①構成部品

- ◆構成部品に外観上の異常(破損、変形、歪み、弛み、等)が無いことを御確認ください。



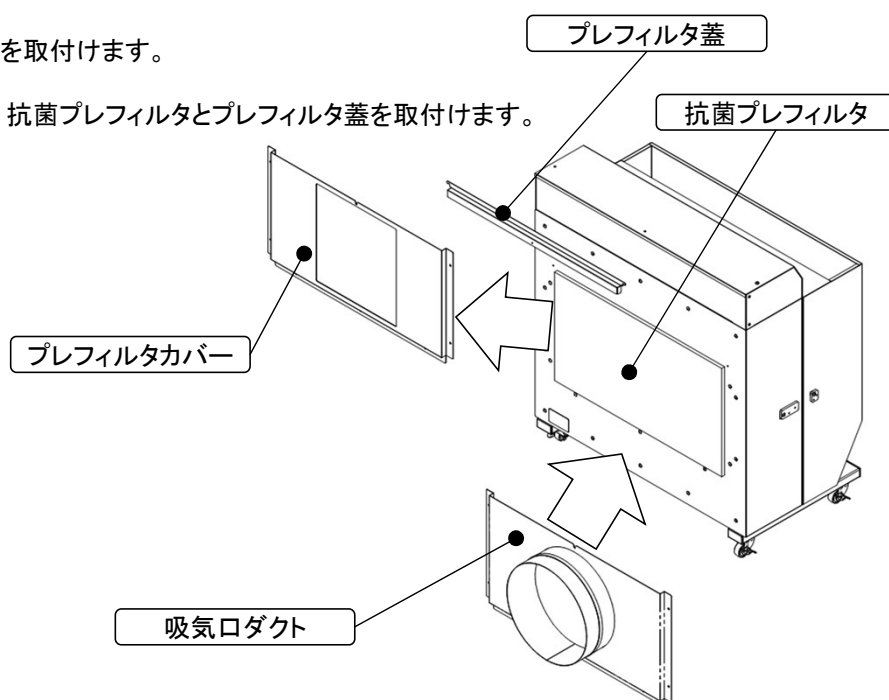
吸気ダクト(ダクト径φ285)オプション 1個

②組立

- ◆使用工具: プラスドライバー No2

◆吸気口変更方法

- 1) P9の抗菌プレフィルタ交換に従い、プレフィルタ蓋と抗菌プレフィルタを外します。
- 2) プラスドライバーを使いプレフィルタカバーを外します。
(トラス小ネジ M4 7か所)
- 3) 取り外したビスを使い吸気口ダクトを取付けます。
(トラス小ネジ M4 7か所)
- 4) P9の抗菌プレフィルタ交換に従い、抗菌プレフィルタとプレフィルタ蓋を取付けます。



排気ダクト

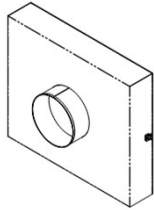
部品交換する前に2～4ページの安全上のご注意をよくお読みいただき、正しくお使いください。

⚠ 警告

- フィルタ交換時は、絶対に電源を入れない
- 指示場所以外の場所を分解しない
発火、感電、けがの恐れがあります。

①構成部品

◆構成部品に外観上の異常（破損、変形、歪み、弛み、等）が無いことを御確認ください。



排気ダクト(ダクト径φ250)オプション 1個

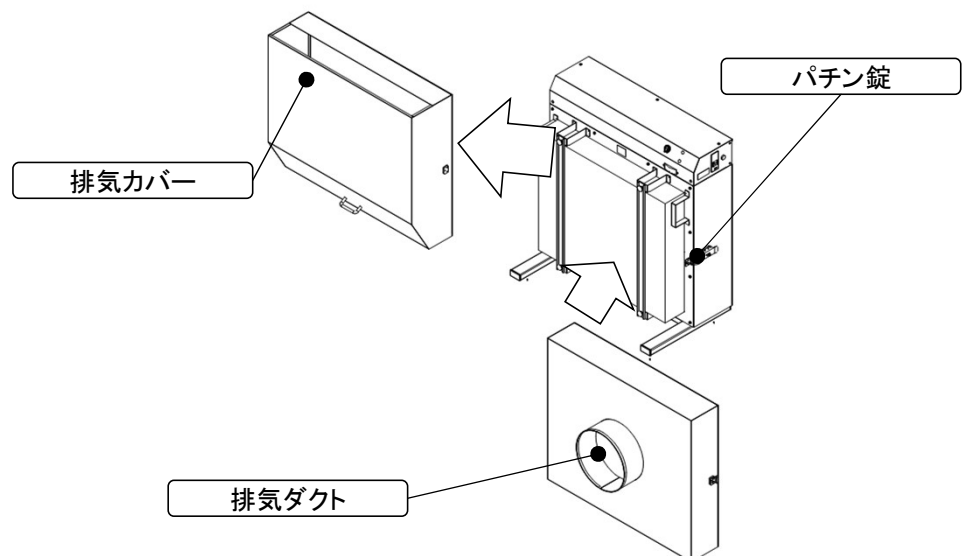
②組立

◆使用工具:なし

◆排気ダクト取付け方法

- 1)パチン錠を取外し、排気カバーを取り外します。
- 2)排気ダクトを取り付けパチン錠で固定します。

※排気ダクトと本体は完全密閉されていません。



8 トラブルシューティング

確認前に2～4ページの安全上のご注意をよくお読みいただき、正しくお使いください。

◆ご使用中に異常が発生しましたら、次のことを確認してください。

事象	原因	処置
主電源スイッチをONにしてもすぐにOFFになる。	装置内部で漏電しています。	使用を停止し、販売店に連絡してください。
主電源スイッチをONにしても運転ランプが点灯しない	電源プラグが正しく接続されていない。	AC100V電源に正しく接続してください。
	1次側電源が切れている。	1次側電源のブレーカーを確認してください。
異常ランプが点灯して動かない	送風機が故障しています。	使用を停止し、販売店に連絡してください。
風量が小さい	風量セレクトが0【6m ³ /min】になっている。	【0】で不足の場合、風量を上げてご使用ください。
	フィルタが目詰まりしている。	9～10ページ:メンテナンスを参考にし、フィルタの交換をしてください。
	風量セレクトが切り替わっていない。(0と1の間が選択されている)	風量セレクトを正確に切り替えてください。
	吸気口が塞がれている。	原因となる物を取り除いてください。
	吸気口の近くに遮蔽物がある。	遮蔽物を取り除き、スペースを確保してください。
差圧計が正常の範囲に入らない	風量セレクトが0、1、2になっている。	風量3にしてご確認ください。
	抗菌プレフィルタが詰まっている	9～10ページ:メンテナンスを参考にし、フィルタの交換をしてください。
	除菌酵素HEPAフィルタが詰まっている	9～10ページ:メンテナンスを参考にし、フィルタの交換をしてください。
	吸気口が塞がれている。	吸気口周辺を確認し、異物を除去してください。

◆それでも直らない場合、又は上記以外の異常が生じた場合は、本製品の使用を中止した上で、銘板記載事項と不具合内容を明示して、販売店まで照会下さい。

9 標準使用期間について

- ◆標準使用期間が過ぎた製品については、経年劣化による故障や部品劣化による発煙、発火等が発生する恐れ、又は適正な保守が困難になる可能性があります。

標準使用条件

使用環境	電圧	単相AC100V
	周波数	50/60Hz
	温度	5°C～35°C
	湿度	35～85% 結露無きこと。
想定時間	一年間の 使用時間	8760時間 (24時間×365日)
標準使用期間		4年

- 標準使用期間とは、上記使用条件下において本製品を使用する場合の目安となる使用期間をいいます。製品の保証期間とは異なり、期間内の無償修理、無償交換を行うことはありませんので、ご留意下さい。

10 保証とアフターサービス

- (1) 修理・お取り扱いなどのご相談は、まず販売店へお申し付けください。
 (2) 保証書(別添付)は必ず、ご購入日・取扱店名などの記入をお確かめいただき、大切に保管してください。
 ※保証書は日本国内においてのみ有効です。

対象部分	製品本体	各種フィルタの交換は 保証期間内でも「有料」とさせていただきます。
保証期間	ご購入時から1年間	

(3) アフターサービス

- ◆修理を依頼される時は……
 13ページのトラブルシューティング表にしたがってご確認いただいたあと、
 状況が改善されない場合は、電源プラグを抜き、装置の使用を中止し、販売店までご連絡ください。
 その際、故障内容とシリアルNo.についても合わせて販売店までご連絡ください。
- ◆保証期間中は……
 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。
 故障内容とシリアルNo.を販売店までご連絡ください。
- ◆保証期間を過ぎている場合は……
 故障内容とシリアルNo.を販売店までご連絡ください。
 修理可能な内容については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- ◆修理対応
 修理対応は保証期間内であっても、センドバック修理サービスとさせていただきます。
 故障機を弊社工場(長野県東御市)に送付していただき、修理して返却いたします。
 センドバックの際は、フィルターを取り外し通常医療機関で行われるレベルの
 クリーニングを実施した上でご返却ください
- ◆修理料金のしくみ
 修理料金は、技術費・部品費・運送費で構成されています。
- ◆製品耐用年数について
 耐用年数は7年です。耐用年数を経過しましたら、修理対応ができませんのでご了承ください。

技術費 診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検にかかる費用です。

部品費 修理に使用した部品および補助材料費です。

運送費 往復運賃と梱包費用です。

- ◆各種フィルタを購入される場合は……
 「抗菌プレフィルタ」、「除菌酵素HEPAフィルタ」は、使用状況により交換いただく消耗品です。
 ご購入の際は、下記の交換部品より、部品名称・部品番号・数量をご確認いただき販売店までご連絡ください。

11 交換部品・別売品

部品名称	部品番号	数	備考
抗菌プレフィルタ	KFC-NP15-PF	1セット	1セット5枚入り
除菌酵素HEPAフィルタ	KFC-NP15-HEPA	1枚	
吸気ダクト	KFC-15H-D	1	別売品 Φ285
排気ダクト	KFC-NP15-D2	1	別売品 Φ250

12 仕様

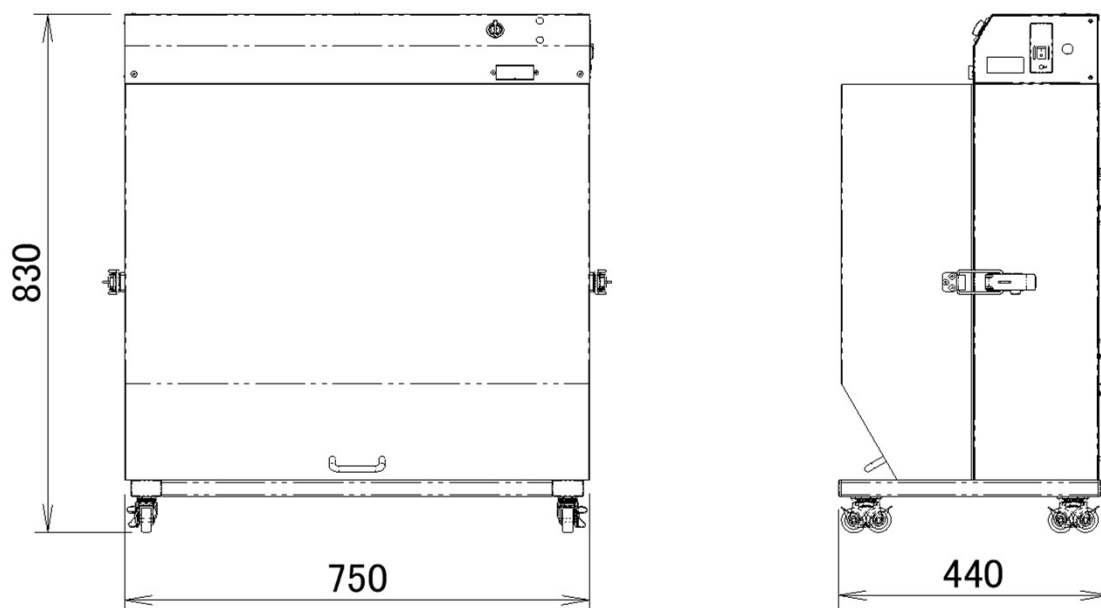
仕様

型式	KFC-NP15
品名	簡易陰圧装置
外形	W750 X D440 X H830
質量	50kg
電源	AC100V
最大消費電力	125W
本体材質	鉄+塗装(アイボリー)
抗菌プレフィルタ	抗菌プレフィルタ H335 × W595
除菌酵素 HEPAフィルタ	除菌酵素HEPAフィルタ H540 × W660 × D100
安全装置	漏電保護

基本性能表

		風量 (m ³ /min)	騒音 dB(A)
セ レ ク タ 風 量	0	6	43
	1	10	50
	2	12	54
	3	14	56

外形図



保証書

お客様名		様					
ご住所							
お電話		FAX					
品名		型式					
		シリアルNo.					
保証期間		1年間（お買い上げ日から）		対象部品：本体			
お買い上げ日		年		月		日	

※お手数ではございますが、空欄のご記入をお願いいたします。

無料修理規定

- 保証期間内に、取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意事項に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき、無料修理致します。
- 保証期間内であっても次の場合には有料修理となります。
 - この保証書の提示がない場合。
 - 保証書に、シリアルNo、お買い上げ日、お客様名、お取扱店名の記載がない場合。
保証書の字句を書き換えられた場合。
 - 改造又は、不当な修理による故障並びに損傷。
 - ご購入後の移動、輸送、落下及び転倒等による故障並びに損傷。
 - 火災、地震、落雷、その他天変地異などによる故障並びに損傷。
 - 消耗品の交換。
※有料修理時の運賃、諸掛かり費用については、お客様にてご負担願います。
- この保証書は、日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期限経過後の修理などについてご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店にお問合せ下さい。

■販売店	■製造 ISO9001、ISO14001 認証取得  コトヒラ工業株式会社 本社 / 〒389-0512 長野県東御市滋野乙1320 TEL : 0268-63-0120 (ダイヤルイン) TEL : 0268-63-0001 (代) FAX : 0268-63-0009 URL : http://www.kotohira.biz/
-------------	--